

保護者各位

事業所運営とリスク管理の指針 (令和5年6月1日～適応)

平素は、ガリレオグループをご利用いただき誠にありがとうございます。
周知のとおり、令和5年5月8日以降コロナ感染症は5類感染症に完全に移行され、それと並行し、国のコロナ関連についての指針も改正されました。今回ガリレオグループでも再度コロナ感染症に関する運営とリスク管理の指針改正をすることとなりました。つきましては、指針を下記のように改正しますので、ご確認をお願い致します。また、この指針は、社会情勢の変化に伴い、随時改定を行い、その都度お知らせ致します。また、皆様にはこれまで通り、安心してご利用を継続していただけるように、日々アルコール消毒等の感染対策も継続して実施してまいります。

濃厚接触者の定義と待機期間

濃厚接触者定義

5類移行後一般に保健所から新型コロナ患者の「濃厚接触者」として特定されることはありません。また、「濃厚接触者」として法律に基づく外出自粛は求められません。

待機期間

- ※ 潜伏期間→3日(多くは2日程度) WHO資料参照
- ※ 感染可能期間(うつしやすい期間)→発症3日目感染性のウイルスの平均的な排出量が非常に多く、5日間経過後は大きく減少することから、特に発症後5日間は他人に感染させるリスクが高いことに注意してください。
※いずれもコロナ感染症発症日を0日目とする。

※「濃厚接触者」「非濃厚接触者」という文言については、厚生労働省の定義に準じます。

新型コロナウイルスについての対応(2023年6月から適用)

職員発症(37.5度以上) → 自宅待機、静養、かかりつけ医受診、解熱後24時間を経て職場復帰。

発症確認後・営業前に事業所内・送迎車全て消毒。
陽性者と関わった疑いのある職員(発症0日目を起点とする。)
については、即日簡易検査を行い陰性確認後就業許可とする。

陽性ならかかりつけ医の指示に従う。

利用児童発症(37.5度以上) → 利用一時中止。かかりつけ医の指示に従い静養。その後、受入れ再開。家族など身近な関係者が陽性になった場合はガリレオ利用対象児童に検査キットをお渡しします。各ご家庭で検査を行い、陰性確認後ガリレオ利用可能とします。

家族発症(37.5度以上) → 濃厚接触者として特定されないため、外出は個人の判断に委ねられる。可能であれば部屋を分け、家族のお世話は限られた方で行う。利用再開について、かかりつけ医の指示に従う。外出する場合は、新型コロナにかかった方の発症日を0日目として、特に5日間は体調に注意する。7日目までは発症する可能性があります。この間の感染症対策は注意し、マスクの着用等にも留意して下さい。

※以上の想定されるケースにおいては、指針に沿い対応を実施いたします。
上記以外、想定外の事態が発生した際には、その都度、各管理者と協議の上速やかに決定・報告を致します。

新型コロナ関連の情報発信について

上記内容及び利用者様の不利益が予測される場合は、直ちに情報発信を行います。皆様のご理解とご協力の程よろしくお願い致します。

ガリレオグループ事業所の対応

療育

- ・施設通所後、手指消毒・検温・手洗いうがいの励行
- ・施設内換気・密の回避・黙食の指導
- ・マスクの着用(任意)
- ・療育終了後、施設内・その日使用した全ての備品の消毒

送迎

送迎時は窓を少し開け、換気を行う。
出来る限り密にならないような座席の設定
送迎終了後施設内清掃・消毒

検査キットの配布

家族等近親者の感染者と接触または接近した疑いがある場合に限り、ガリレオからコロナ感染症抗原検査キットを対象利用者に配ります。其々、各ご家庭で検査後陰性を確認し利用再開とします。

緊急時連絡方法

利用者や職員の陽性者発症状況等、緊急の連絡の際はガリレオグループ各事業所から公式ラインでお伝えしますので、そちらをご覧ください。また、ガリレオホームページにこちらの指針も記載させていただきます。